住友金属鉱山

統合報告書2023

住友金属鉱山株式会社

統合報告書 2023

住友金属鉱山

MINING THE FUTURE

non-VOCインキを使用しています。

At a Glance（2023年3月期）

創業

430年以上

日本の上場企業で2番目に長い歴史

売上高（連結）

1兆4,230億円

税引前利益（連結）

2,299億円

自己資本比率

60.3%

当社ビジネスの特性上、一時的なキャッシュ・アウトフローに耐えうる健全な財務体質として、自己資本比率50%以上の維持を目標としています。

総資産

2.7兆円

配当性向

35.1%

従業員数（連結）

7,330名

事業展開している国と地域数

14

P.2-3

製造拠点

資源 7つの鉱山
製錬 8カ所の製錬所
材料 20の工場

日本で唯一の操業金鉱山

菱刈鉱山累計産金量
264トンで日本一

（2023年3月末時点）

世界のClass1ニッケル生産量

第5位

※当社調べ

二次電池向けニッケル系正極材

世界シェアトップクラス

※当社調べ

3つのコア事業

資源事業 P.54-59

300年以上受け継がれてきた鉱山開発・運営の技術や経験を活かし、国内最大の金鉱山である菱刈鉱山でサステナビリティを重視した操業を行っています。海外で権益を保有する鉱山の運営に参画して銅や金などを生産し素材の提供を行うとともに、資源の確保に努めます。また、新たな優良鉱山の権益獲得や開発に取り組んでいます。

主要製品等

金銀鉱、銅精鉱、銅、金、モリブデン

製錬事業 P.60-65

1590年の銅製錬事業開始から430年以上にわたって様々な金属素材を幅広い産業に安定的に供給し続けています。HPAL（高圧硫酸浸出）法による低品位ニッケル酸化鉱からのニッケル回収を世界で初めて商業ベースで成功させた高度な製錬技術を強みに事業を展開しています。

主要製品等

銅、金、銀、電気ニッケル、電気コバルト、フェロニッケル、パラジウム、化成品

材料事業 P.68-73

自動車やエネルギー、環境、情報通信、家電といった幅広い分野に利用される高機能材料や、カーボンニュートラルに貢献する製品の開発・生産をしています。

主要製品等

電池材料、ペースト、粉体材料、結晶材料、薄膜材料、磁性材料、パッケージ材料、石油精製触媒、自動車触媒、軽量気泡コンクリート、潤滑剤

住友金属鉱山グループの事業展開（2023年5月1日現在）

● 連結子会社　■ 持分法適用会社

日本

住友金属鉱山株式会社

資源事業
- ● 住鉱資源開発（株）

製錬事業
- ■ （株）アシッズ
- ■ エム・エスジンク（株）
- ● （株）四阪製錬所
- ● 住鉱物流（株）
- ● （株）日向製錬所
- ■ 三井住友金属鉱山伸銅（株）

材料事業
- ● （株）SMMプレシジョン
- ■ エヌ・イー ケムキャット（株）
- ● 大口電子（株）
- ● 大口マテリアル（株）
- ● （株）グラノプト
- ● （株）サイコックス
- ● （株）伸光製作所
- ● 住鉱エナジーマテリアル（株）
- ● 住鉱国富電子（株）
- ● 住鉱潤滑剤（株）
- ● 住友金属鉱山シポレックス（株）
- ● 新居浜電子（株）
- ■ 日本ケッチェン（株）

その他
- ● ヰゲタハイム（株）
- ● （株）ジェー・シー・オー
- ● 住鉱技術サービス（株）
- ● 住鉱テクノリサーチ（株）
- ● 住友金属鉱山エンジニアリング（株）
- ● 日本照射サービス（株）

アジア

資源事業
- ■ Cordillera Exploration Company Inc.（フィリピン）

製錬事業
- ■ 金隆銅業有限公司（中国）
- ● 住友金属鉱山管理（上海）有限公司（中国）
- ● 住友金属鉱山（香港）有限公司（中国）
- ● Coral Bay Nickel Corporation（フィリピン）
- ■ Nickel Asia Corporation（フィリピン）
- ● Taganito HPAL Nickel Corporation（フィリピン）
- ● Sumitomo Metal Mining Philippine Holdings Corporation（フィリピン）

材料事業
- ● 東莞住鉱電子漿料有限公司（中国）
- ● 上海住鉱電子漿料有限公司（中国）
- ● 住鉱潤滑剤貿易（上海）有限公司（中国）
- ● 格藍光学材料貿易（深圳）有限公司（中国）
- ● 伸光商貿（中山市）有限責任公司（中国）
- ● 台住電子材料股份有限公司（台湾）
- ● 韓国住鉱株式会社（韓国）
- ● SMM Vietnam Co., Ltd.（ベトナム）

北米

資源事業
- ● SMMA Candelaria Inc.（米国）
- ● SMM Exploration Corporation（米国）
- ● Sumitomo Metal Mining America Inc.（米国）
- ● Sumitomo Metal Mining Arizona Inc.（米国）
- ● SMM Morenci Inc.（米国）
- ● SMM Gold Cote Inc.（カナダ）
- ● Sumitomo Metal Mining Canada Ltd.（カナダ）
- ● SMM Resources Inc.（カナダ）

その他地域

資源事業
- ■ Compania Contractual Minera Candelaria（チリ）
- ■ Compania Contractual Minera Ojos del Salado（チリ）
- ● Sumitomo Metal Mining Chile LTDA.（チリ）
- ● SMMQB Holding SpA（チリ）
- ● SMM Quebrada Blanca SpA（チリ）
- ■ Quebrada Blanca Holdings SpA（チリ）
- ● Sumitomo Metal Mining Peru S.A.（ペルー）
- ■ Sociedad Minera Cerro Verde S.A.A.（ペルー）
- ● Sumitomo Metal Mining do Brasil LTDA.（ブラジル）
- ● Sumitomo Metal Mining Oceania Pty. Ltd.（オーストラリア）
- ● SMM Cerro Verde Netherlands B.V.（オランダ）
- ● SMMCV Holding B.V.（オランダ）

製錬事業
- ■ FIGESBAL SA（ニューカレドニア）

グループ会社数

連結子会社 52社

持分法適用会社 13社

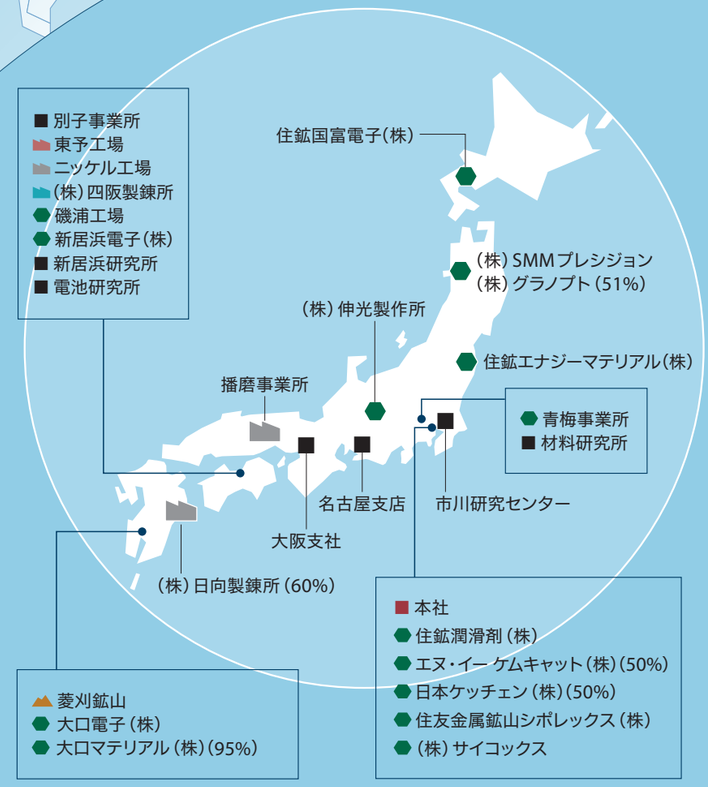
資源セグメント
▲ 銅　▲ 金

製錬セグメント
■ 銅　■ ニッケル　■ その他

材料セグメント
⬢ 材料事業の主要拠点

■ その他の主要拠点　関係会社

（ ）は出資比率。記載のないものは100%



※ 国内関係会社は本社所在地を示しています。

住友金属鉱山は
変革し、
挑戦する

21中計の特徴は、近年において事業運営上の大きな課題としてクローズアップされている「カーボンニュートラル」「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」「人材戦略」への対応と、課題解決に向けた取り組みをフォーカスしている点にあります。これらの課題は、従来の延長線上の活動で解決できるものではなく、また、初期の「つまずき」がステークホルダーの期待とのギャップとして表れ、それを放置すれば後々の競争力低下を招き、やがては市場からの排除につながりかねないものと認識しています。21中計のテーマ「変革への新たな挑戦」は、従来の仕組みの延長線上にある「改革」ではなく、全く新しいものに置き換えるという意味を持つ「変革」というキーワードにこだわり、挑戦が始まっています。

本誌では、これら3つの課題「カーボンニュートラル」「DX」「人材戦略」を取り上げ特集ページを構成しています。

特集1　住友金属鉱山グループのDX（デジタル・トランスフォーメーション）　P.78

DXへの対応

2021年4月にDX推進委員会を立ち上げ、2022年7月にはDXに関わる施策を実行する専任組織としてDX推進部を発足させて、全社的なDXを加速させています。これまで各所で行っていたDXに関連する取り組みを全社的に統合し、全社DX基盤を整備して競争力強化を図ります。

特集2　カーボンニュートラル推進委員会の取り組み　P.99

カーボンニュートラルへの対応

気候変動に関する対応力を強化し、GHG（温室効果ガス）排出量の削減の取り組みの加速を図るため、2022年、カーボンニュートラル推進委員会を立ち上げました。

特集3　人材戦略　変革と伝承～変化してこそ守られる～　P.128

人材戦略

人材の確保・育成・活用は、企業存続に関わる極めて重要な課題だと認識しています。その課題解決のため、人事制度の抜本的改正や社員の意識変革、教育の充実など、ソフト面での対応を中心に種々の取り組みを行っています。

目次

At a Glance
1 3つのコア事業
2 住友金属鉱山グループの事業展開

Introduction
4 特集紹介
6 目次

住友金属鉱山グループのありたい姿
8 住友の事業精神・経営理念
9 長期ビジョン
10 2030年のありたい姿
12 「2030年のありたい姿」策定プロセス
13 トップメッセージ

住友金属鉱山グループの価値創造のしくみ
20 価値創造のあゆみ
24 世界の非鉄金属産業と住友金属鉱山グループ
28 価値創造プロセス
30 価値創造プロセス（ビジネスモデル）の解説
32 住友金属鉱山グループの資本
住友の事業精神が培った「7つの競争力」
34 リスクと機会
36 財務・非財務ハイライト

価値創造の中長期戦略
40 過去の中期経営計画の振り返り
42 戦略と資源配分（22実績・23計画・21中計）
54 資源事業
60 製錬事業
66 東予工場の技術の変遷
68 材料事業
74 研究開発
77 電池リサイクル
78 特集1 住友金属鉱山グループのDX
（デジタル・トランスフォーメーション）
82 住友金属鉱山グループのサステナビリティマネジメント
86 2030年のありたい姿・重要課題・KPI（指標と目標）
88 ① 非鉄金属資源の有効活用
89 ② 気候変動
92 ③ 重大環境事故 ④ 生物多様性
93 ⑤ 従業員の安全・衛生
94 ⑥ 多様な人材 ⑦ 人材の育成と活躍
95 ⑧ ステークホルダーとの対話
96 ⑨ 地域社会との共存共栄
97 ⑩ 先住民の権利
98 ⑪ サプライチェーンにおける人権
99 特集2 カーボンニュートラル推進委員会の取り組み

価値創造を支え続ける
100 コーポレートガバナンス
112 社外取締役座談会
「自由闊達な組織風土」づくりと、強靭な人的資源の「確保」「育成」「活用」のために社外取締役が果たす役割とは
114 税務ガバナンス
116 コンプライアンス
120 リスクマネジメント
123 品質保証
128 特集3 人材戦略
変革と伝承～変化してこそ守られる～
134 役員一覧

データセクション
136 FAQ
138 用語集
142 11年間の主要財務指標の推移
144 連結財政状態計算書／連結損益計算書／
連結包括利益計算書
146 連結持分変動計算書
148 連結キャッシュ・フロー計算書
149 会社概要および株式に関する情報
150 真正性表明

見通しに関する注意事項
本統合報告書に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が編集時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

統合報告書2023のコンセプト

「変革への新たな挑戦」をテーマとする「2021年中期経営計画」初年度の取り組みを重点的に説明

「統合報告書2023」は「住友金属鉱山グループのありたい姿」「住友金属鉱山グループの価値創造のしくみ」「価値創造の中長期戦略」「価値創造を支え続ける」「データセクション」という5つの章で構成しています。ステークホルダーの皆様にとって網羅的でありながらも、より読みやすい内容にするよう心掛けるとともに、当社株式に関する投資判断の視点に配慮した情報を充実させています。

特集では、21中計の3つの重要課題「カーボンニュートラル」「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」「人材戦略」を取り上げ、「変革への新たな挑戦」をご紹介しています。

昨今、ステークホルダーの皆様の関心が高まっている「人材」について、特集の「人材戦略」の記述を厚くし、社外取締役座談会のテーマにするなど、当社の人材への取り組みをご理解いただけるよう心掛けました。

また、これまで取りあげることの少なかった、銅製錬技術について、東予工場の技術の積み重ねによる生産量増量の取り組みを中心に「東予工場の技術の変遷」としてコラムにまとめました。

なお、サステナビリティに関わる詳細なデータについては、2023年より発行のサステナビリティレポートとの開示の役割分担を明確にし、サステナビリティ情報のうちマテリアルな内容を抽出、さらに読みやすさを追求しました。（サステナビリティレポート2023 https://www.smm.co.jp/sustainability/library/sustainability_report/）

全編を通して、価値創造、長期ビジョン「世界の非鉄リーダー」たる高い目標と決意を表明し、中長期の価値創造の戦略を示しサステナビリティについてのコミットメントも示しています。

編集方針

近年、SDGsが注目を集めるなど、社会・環境の課題に対する関心が高まる一方、企業に対しては、経済的価値の創出のみならず、これら社会・環境課題解決への取り組みに対する期待も大きくなっています。

当社は、社内外の様々なステークホルダーの皆様に、当社グループが目指す“持続的な成長と企業価値の最大化”に向けた取り組みについて、ご理解を深めていただくとともに、皆様との対話に際して活用いただくことを目的として、2016年より統合報告書を発行してきました。

第8回の発行となる「住友金属鉱山　統合報告書2023」の編集にあたっては、これまで積み重ね構成してきた記事を重点志向で見直すとともに、サステナビリティレポート発行に伴い、サステナビリティに関連する開示情報を特に重要なものに厳選しました。

また、2021年中期経営計画の3つの重要課題であり、ステークホルダーの皆様の関心の高い、「カーボンニュートラル」「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」「人材戦略」に対応する3つの特集記事を掲載しましたので、それぞれの課題への当社の取り組みをご理解いただく一助となれば幸いです。

参考としたガイドライン等

本報告書の編集にあたっては、「国際統合報告フレームワーク※1」および「価値協創ガイダンス※2」を参照し、価値創造プロセスを用いて活用する資本、ビジネスモデル、ステークホルダーに提供する価値を分かりやすく解説しています。

※1 国際会計基準（IFRS）財団が提供している企業の短・中・長期の価値創造ストーリーを伝える国際的な企業報告フレームワーク
※2 経済産業省がとりまとめた、企業と投資家が情報開示や対話を通じて互いの理解を深め、価値協創に向けた行動を促すことを目的としたガイダンス

対象範囲

住友金属鉱山株式会社
（SMM：Sumitomo Metal Mining Co., Ltd.）
住友金属鉱山グループ　当社および連結子会社
経済性および環境報告　当社、連結子会社、持分法適用会社
社会性報告　当社、連結子会社

発行年月

2023年9月　次回予定2024年9月（前回2022年9月）

対象期間

（一部、対象期間以前、もしくは以降の活動内容も含まれます）
国内：2022年4月1日～2023年3月31日
海外：2022年1月1日～2022年12月31日

お問い合わせ先

住友金属鉱山株式会社 広報IR部
〒105-8716 東京都港区新橋5丁目11番3号
TEL 03-3436-7705　FAX 03-3434-2215